

蛍光灯 27年末製造禁止

水銀規制 水俣条約会議で合意

【ジュネーブ共同】水俣病の原因となった水銀を包括的に規制する「水銀に関する水俣条約」の第5回締約国会議が3日、スイス西部ジュネーブで閉幕し、直管蛍光灯の製造と輸出入を

2027年末までに禁止することなどで合意した。25年末での製造・輸出入禁止が既に決まっている電球形蛍光灯と合わせ、全ての一般照明用蛍光灯の製造が終

発光ダイオード(LED)照明と従来照明の比較

	白熱電球	蛍光灯	LED照明
仕組み	フィラメントが熱くなって光る	ガラス管の中で金属が放電して光る	LED自体が光る
寿命	1000~2000時間	6000~1万3000時間	10万時間
消費電力	—	白熱電球の約5分の1	白熱電球の約20分の1
特徴	点灯時に熱を発する	明るいのが、点灯に時間がかかる	ちらつきが少なく、虫が寄り付かない

発光ダイオード(LED)照明への切り替えが進んでいる日本は今回の協議を主導し、条約採択から10年の節目の会議で成果を出すことに貢献した。

合意の背景には、LED照明の世界的な普及がある。蛍光灯の製造と輸出入は禁じられるが、28年以降も使用や在庫品販売は継続できる。水俣条約は13年10月に熊本県で採択され、17年8月に発効。現在は147カ国・地域が加盟している。日本照明工業会によると、日本メーカーで現在も蛍光灯を製造しているのは2社。

会議では、水銀を使用し

たボタン型電池や化粧品、水銀含有触媒を使用するポリウレタンについても25年末までに製造や輸出入を禁止することで合意した。水銀で汚染された廃棄物の基準値を15ppmとすることも決めた。

一方、歯科治療での水銀使用禁止は合意できなかった。小規模金探掘で金の抽出に使う水銀で、環境や人体への悪影響が出ていることについても、水銀使用による危険性の住民への周知徹底を各国に求めたが、禁止に向けた具体的な措置は取れなかった。

25年11月3~7日にジュネーブで開催予定の次回締約国会議以降に課題を持ち越した。

食文化や規制の違い、流通体制の把握など課題は多い。紋別市の水産加工会社

港を経由するルート(同613億円)に大別される。品目の内訳が分かる道内二本柱となる。

質からの脱却が急務だ。品目の拡大と輸出入の分散が

